

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧（いわき地区）

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約（申込）の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
1	いわき市	スパリゾートハワイアンズ ※この施設に宿泊する団体旅行の場合、これとは別に2か所以上行程に組み込むこと	通年	(H29.7.31まで) 入館料：中学生以上 3,240円/小学生2,060円/3歳以上1,450円/3歳未満児 無料 (H29.8.1から) 入館料：中学生以上 3,500円/小学生2,200円/3歳以上1,600円/3歳未満児 無料 ※団体割引有 ※体験プログラムは別途料金がかかります。	自家用車4,000台 ※大型バス駐車場有（無料）		JR常磐線湯本駅から無料シャトルバスで約10分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約5分	スパリゾートハワイアンズ	1年中28℃に保たれた常夏のドーム内には5つのテーマパークがあり遊びきれないほどの温泉楽園。音と光が作り出すフラガールによるポリネシアンショーは必見。 フラガールによるタヒチアンダンスのミニレッスンや、楽器、ナイフダンスの体験ができる「いっしょに南国体験タイム」、楽しみながらエクササイズができるようなオリジナルプログラム「アロハ・エンジョイ・フラとタヒチアンダンス」、まるで魚と一緒に泳いでいるような新感覚のアクアリウムプール「フィッシュゴランド」などもご用意しております。 ●体験プログラム ・アロハ・エンジョイ・フラ ・イアオラナタヒチアンダンス ・いっしょに南国体験タイム	スパリゾートハワイアンズ 住所：いわき市常磐藤原町蔵平50 電話番号：0570-550-550 FAX番号：0246-44-6220 メール：info@hawaiians.co.jp ホームページ： http://www.hawaiians.co.jp/
2	いわき市	環境水族館 アクアマリンふくしま	通年	入館料：一般1,800円/小～高校生900円/未就学児無料 ※各プログラム、参加体験は別途料金がかかります。	自家用車500台、大型バス15台（無料）	電話・FAX・ホームページより受付	JR常磐線泉駅から小名浜・江名行きバスで約15分支所入口下車徒歩約10分。常磐自動車道いわき湯本ICから車で約20分	環境水族館 アクアマリンふくしま	福島県の海の大きな特徴である親潮と黒潮が出会う潮目の海がメインテーマの水族館。親潮の源流域オホーツク海、黒潮の源流域熱帯アジアの自然、福島県浜通りの海山川の生態系を再現しています。約800種8万点の生物を展示しています。プロフィールのテーマは「海・生命の進化」。生きた化石と呼ばれる生物の展示から、現在へ進化のストーリーをたどります。様々なワークショップや、キッズプログラム、ナイトプログラム、バックヤードツアーなど各種参加体験や、屋外にある世界最大級のタッチプール「蛇の目ビーチ」で生き物に触れあう体験など、見ることはもちろん、五感を使って楽しむことができる水族館。	アクアマリンふくしま企画経営グループ 住所：いわき市小名浜字辰巳町50 電話番号：0246-73-2525 FAX番号：0246-73-2526 メール：amf@marine.fks.ed.jp ホームページ： http://www.marine.fks.ed.jp
3	いわき市	いわき市最大の観光物産センター いわき・ら・ら・ミュウ	通年	無料	自家用車430台（大型バス25台含む）（無料）		JR常磐線泉駅から小名浜行きバスに乗り、支所入口から徒歩約10分。常磐自動車道いわき湯本ICから車で約30分	いわき・ら・ら・ミュウ	「いわき・ら・ら・ミュウ」は、いわき市最大の観光物産センターです。 1階にはせり気分を味わえるお魚売り場といわき土産や飲食店、観光遊覧船のターミナルなどがあり、2階にはレストランやいわきの歴史紹介コーナーの「いわきライブミュージアム」など、いわきの魅力がぎゅっと詰まった観光物産センターです。	いわき・ら・ら・ミュウ 住所：いわき市小名浜字辰巳町43-1 電話番号：0246-92-3701 FAX番号：0246-92-3147 メール：lalamew@helen.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.lalamew.jp
		いわき・ら・ら・ミュウ 震災から現在までの歩み	通年	無料	自家用車430台（大型バス25台含む）（無料）	1週間前までに要予約	JR常磐線泉駅から小名浜行きバスで約15分、支所入口下車徒歩10分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約30分	いわき・ら・ら・ミュウ研修室	津波で壊滅的な被害を受けた1階店舗。研修室を利用し震災当時の様子を収めたDVDを上映。資料とともに被害状況、復旧に向けた取り組みについての説明と施設の現在の姿を案内。質疑応答を含め約30分。受け入れ人数は5名～約150名。	
4	いわき市	国宝「白水阿弥陀堂」	通年	大人400円、子供250円	自家用車60台、大型バス10台（無料）		JR常磐線いわき駅から川平行きバスで、あみだ堂下車徒歩約5分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約15分	白水阿弥陀堂	福島県では建造物として唯一国宝に指定されています。岩城則道公の妻徳尼が夫の供養のために建立したといわれる、平安後期の代表的な阿弥陀堂建築。美しい曲線を描く屋根と浄土式庭園が調和した、優美な姿を見せてくれます。	白水阿弥陀堂 住所：いわき市内郷白水町広畑219 電話番号：0246-26-7008 FAX番号：0246-26-7722
5	いわき市	いわき湯本温泉	通年	各旅館問合せ	各旅館問合せ		JR常磐線湯本駅下車常磐自動車道いわき湯本ICから車で約10分	いわき湯本温泉街一円	千年以上もの歴史を持ち、古くは「三函の湯」とも呼ばれ、愛媛の道後・兵庫の有馬温泉とともに日本三古泉ともいわれています。	いわき湯本温泉旅館協同組合 住所：いわき市常磐湯本町天王崎地内 電話番号：0246-43-3017 FAX番号：0246-44-5691 ホームページ： http://www.iwakiyumoto.or.jp3
6	いわき市	ワンダーファーム	通年	トマトの収穫体験800円 ※その他直接お問い合わせください。	自家用車76台、大型バス10台（無料）		常磐自動車道いわき四倉ICから車で2分	JRとまとランドいわきファーム、ワンダーファーム	いわき市産サンシャイントマトを活用した加工・直売・レストラン事業を展開する6次産業化施設。「農のある暮らし」をコンセプトに、「育てる」「つくる」「食べる」「学ぶ」「癒す」「買う」「考える」という方向から、自然との共生を体験できる楽しいファームです。イベント広場を併設し各種イベントを開催。	梯ワンダーファーム 住所：いわき市四倉町中島三反田地内 電話番号：0246-38-8851 FAX番号：0246-85-5106 ホームページ：http://www.wonderfarm.co.jp/
7	いわき市	いわき市石炭・化石館「ほるる」	通年	一般 580円/中・高・大学生 390円/小学生 290円 ※団体(20名以上)割引あり アンモナイト標本作成体験 1,000円/コハクのアクセサリー工作体験 1,500円 入館料：一般650円/中・高・大学生430円/小学生320円/幼児無料	自家用車66台（無料） ※大型バス可能		JR常磐線湯本駅から徒歩約10分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約15分	いわき市石炭・化石館ほるる	いわき市石炭・化石館・愛称「ほるる」は、常磐炭田の探掘の歴史と、市内で発掘された化石や地球の歴史を物語る諸外国の化石資料を展示する施設です。小学校低学年までが遊ぶことのできる、屋内遊び場「いわきっずもりもり」も併設されています。	いわき市石炭・化石館ほるる 住所：いわき市常磐湯本町向田3-1 電話番号：0246-42-3155 FAX番号：0246-42-3157 メール：inf@sekikankasekikan.or.jp ホームページ： http://www.sekikankasekikan.or.jp/

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧（いわき地区）

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約（申込）の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
8	いわき市	塩屋埼灯台と雲雀乃苑 ※「塩屋埼灯台と雲雀乃苑施設」と「六観光本店」の両方に立ち寄った場合も1か所とみなす	通年	塩屋埼灯台：中学生以上200円、小学生以下無料 雲雀乃苑：無料	自家用車50台、大型バス10台（無料）		JR常磐線泉駅から江名経由いわき駅行きバスで灯台入口下車徒歩約15分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約40分	塩屋埼灯台・雲雀乃苑	平薄磯にある海拔73mの断崖上に立つ白亜の灯台で、「日本の灯台50選」にも選ばれました。明治32年(1899年)に塩屋埼航路標識事務所として開設。灯台の眩しいくらい白と深い懐を持った海の青さとのコントラストが詩情を誘う景勝地として、全国から観光客が訪れている市内有数の観光地となっています。 この塩屋埼灯台のふもとにある「雲雀乃苑」には、故美空ひばりさんの歌碑があり、ひばりさんが大病後の復帰第一段としてレコーディングを行った「みだれ髪」は、ここ塩屋岬をモチーフにした歌詞が唄われています。東日本大震災では津波被害を奇跡的に免れ、歌碑の前に立つとセンサーで曲が流れます。永遠のひばり像も同様の仕組みで、こちらは「哀しき口笛」のメロディーが流れます。	塩屋埼灯台灯籠会 住所：いわき市平薄磯字宿崎34 電話/FAX番号：0246-39-3924 ホームページ：http://www.kankou-iwaki.or.jp/(いわき市観光情報サイト)
		山六観光本店 ※「山六観光本店」と「塩屋埼灯台と雲雀乃苑」の両方に立ち寄った場合も1か所とみなす	通年	口演は無料	自家用車30台、大型バス12台（無料）	2週間前までに要予約(FAXにて受付)10名以上でお願いします。※3日前までFAXにて要予約	JR常磐線泉駅から江名経由いわき駅行きバスで灯台入口下車徒歩約15分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約40分	山六観光本店 店舗内	美空ひばりの「みだれ髪」で有名な塩屋埼灯台の向かいに位置する山六観光。 甚大な津波被害を受けた薄磯地区でしたが、奇跡的に山六観光は大きな被害を受けることがありませんでした。山六観光本店の店内では社長自ら、震災当時の津波写真を見せながら、当時の状態をありのまま語っていただけます。(15分～30分) また、山六観光小名浜店（いわき・ら・ら・ミュウ2階）では海を眺めながら、いわきの「旬」を感じさせる海鮮料理を堪能できます。	有限会社 山六観光 住所：いわき市平薄磯字宿崎33-5 電話番号：0246-39-3636 FAX番号：0246-39-3161 ホームページ：http://yamaroku-kanko.com/
9	いわき市	いわきマリントワー（三崎公園）	通年	公園は無料 マリントワー：一般320円、中高大生220円、小学生160円	自家用車802台、大型バス32台（無料）		JR常磐線泉駅から小名浜行きバスに乗り、小名浜案内所下車徒歩約30分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約30分	三崎公園	約200本のソメイヨシノの他にパーベキュー広場ではオオシマザクラが植栽されています。 広い園内、順次咲き始めるので長く桜を楽しむことができます。 また公園内には自然遊歩道や潮見台のほか、公園や港湾を一望できるいわきマリントワーがあります。	三崎公園管理事務所 住所：いわき市小名浜下神白字大作93 電話番号：0246-53-2448 FAX番号：0246-68-8078 ホームページ：http://www.iwakicity-park.or.jp/misaki/
10	いわき市	書の世界へ誘う 天才書家金澤翔子の世界	通年	800円（600円）小学生未満無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金	自家用車20台、大型バス可能（無料）	不要	JR常磐線湯本駅から車で約20分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約15分	金澤翔子美術館	「きもの乃館丸三」に、ダウン症の天才書道家・金澤翔子の日本で初めての常設美術館が開設。東日本大震災からの復興への思いを込めて、被災地等で揮毫を行ってきた書道家金澤翔子の代表的な作品「共に生きる」を含む作品数十点を展示。常設展示室のほか、別館ギャラリーでは、金澤翔子の個性を季節ごとにテーマを変えた企画展でご紹介。天与の役目を持って書の道を歩む「金澤翔子の書の世界」をご堪能ください。	金澤翔子美術館 住所：いわき市遠野町根岸字横道71番地 電話番号：0246-89-2766 FAX番号：0246-89-2044 メール：info@kanazawa-shoko.jp ホームページ：http://kanazawa-shoko.jp/museum/
11	いわき市	日産VQエンジンの生産を見学！	通年	無料	自家用車30台、大型バス5台（無料）	2週間前までに要予約、2～100名様まで（個人予約も2名様から可能です） ※遅くとも1週間前までご予約下さい	JR常磐線泉駅からタクシーで10分、常磐自動車道湯本ICから車で約30分	日産自動車株式会社 いわき工場	日産自動車株式会社いわき工場はスカイライン・フーガ・フェアレディZなどに搭載されているVQエンジンの生産工場です。国内で、VQエンジンの生産を見学できるのは、いわきだけ。見学をする、トミカのミニカーを無料でもらえます。 ・工場概要説明 ・DVD上映 ・工場内見学（エンジン組み立てライン、部品組付け体験など） ・質疑応答	日産自動車株式会社いわき工場管理課工場見学担当 住所：いわき市泉町下川字大剣386 電話番号：0246-75-1122 FAX番号：0246-75-1151 ホームページ：http://www.nissan-global.com/JP/PLANT/IWAKI/
12	いわき市	小川諏訪神社	通年	無料	自家用車50台程度（境内と臨時駐車場、休日には小川郵便局の駐車場など） 大型バスはいわき市草野心平記念文学館に一時駐車（駐車料金は無料）		JR常磐線いわき駅から車で約20分、JR磐越東線小川郷駅から徒歩約15分、常磐自動車道いわき中央ICから車で約15分	小川諏訪神社	樹齢500年以上といわれるシダレザクラ。いわき市の天然記念物に指定されています。 市内でも最大級の大きさで、神社の神聖な空間と相まって訪れた人の心を癒やします。	小川諏訪神社 住所：いわき市小川町塩田字宮ノ後52 電話番号：0246-83-0178 FAX番号：0246-38-3469
13	いわき市	道の駅よつくら港	通年 ※よかつべ市は土、日開催	イベント内容により異なる。	自家用車62台、大型バス15台（無料）		JR常磐線四ツ倉駅から徒歩約20分、常磐道いわき四倉ICから車で約10分	道の駅よつくら港	1階には地元の新鮮野菜等を販売する直売所やお土産売り場があり、2階のフードコーナーでは、地元食材を使ったメニューを太平洋を一望できるテラス席で楽しむことができます。	道の駅よつくら港 住所：いわき市四倉町五丁目218-1 電話番号：0246-32-8075 FAX番号：0246-68-6690 メール：yotukurakou@solid.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.429-love.jp

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧（いわき地区）

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約（申込）の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
14	いわき市	いわき市立草野心平記念文学館	通年	一般430円/高・高専・大生320円/小・中生160円	自家用車41台、大型バス3台、障がい者用2台（無料）		JR磐越東線小川郷駅から車で約5分、常磐自動車道いわき中央ICから車で約15分	いわき市立草野心平記念文学館	いわき市小川町の雄大な自然に囲まれた山腹に立地しています。アトリウムロビー正面から一望できる阿武隈山系は、心平が16歳まで暮らした故郷の情景です。館内には常設展示室をはじめ、企画展示室、アートパフォーマンススペース、文学プラザ、小講堂等があり、文学を中心とした様々な事業を展開しています。また、7、8月の土曜日は20時まで開館（入館は19時30分まで）し、サマーナイトコンサート等、多彩な催しを開催しています。	いわき市立草野心平記念文学館 住所：いわき市小川町高萩字下夕道1番地の39 電話番号：0246-83-0005 FAX番号：0246-83-2939 メール：info@k-shimpei.jp ホームページ：http://www.k-shimpei.jp/
15	いわき市	いわきかまぼこ工房	通年	かまぼこアート&たけちくわ作り 500円/かまぼこアート作り、たけちくわ作り各300円	自家用車15台、大型バス4台（無料）	事前予約が必要。7日前までの予約が可能。※前日までに要予約。	JR常磐線泉駅から小名浜方面行きバスで、滝尻松原下車徒歩すぐ、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約30分	いわきかまぼこ工房	いわきかまぼこ工房では、さまざまなかまぼこ作り体験ができます！かまぼこに好きな絵や文字を描く「かまぼこアート」。昔ながらの「たけちくわ」を作り、その場で食する体験。自分で作った出来たかまぼこは格別においしいです。※1回20名～40名の受け入れ	いわきかまぼこ工房 住所：いわき市泉町滝尻字松原51 電話番号：0246-75-1666 FAX番号：0246-96-6805 ホームページ：http://www.kk-yuzuki.co.jp/
16	いわき市	浜風きらら	通年	無料	自家用車26台（無料）、バス駐車は事前相談		JR常磐線久ノ浜駅から徒歩約5分、常磐自動車道いわき四倉ICから車で約16分	浜風きらら	「浜風きらら」は東日本大震災により被災した福島県いわき市久ノ浜町の復興と、地域の利便性向上の為、商店街と地域住民が中心となり、「信頼される食の提供」「笑顔をつなぐ楽しみの場の提供」「仕事（場）づくり」を基本コンセプトに、商業店舗はもちろん、郵便局も内包した商業施設です。また、商工会も同じところで活動しています。	浜風きらら 住所：いわき市久ノ浜町久ノ浜字北町21 電話番号：0246-85-0871 FAX番号：0246-85-0872 ホームページ：http://hamakaze-kirara.com/
17	いわき市	いわきデイクルーズ	通年	乗船料：大人1,800円/小人900円/幼児400円 15名から団体料金（大人1,620円/小人800円）	自家用車430台（大型バス25台含む）（無料）		JR常磐線泉駅から小名浜行きバスで、支所入口下車徒歩約10分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約20分	いわき・ら・ら・ミュージアム階 旅客ターミナル	大型観光遊覧船「ふえにつくす」は、小名浜港のいわき・ら・ら・ミュージアムより毎日10時から1時間毎に出航する小名浜湾内めぐり遊覧コースをはじめ、皆様に安全で快適な各種海上遊覧をお届け致しております。また、団体様向けに3航路があるほか、貸切でのクルーズも運行できます。（20名様以上、一人6,500円～）ナイトクルージングなどもご相談いただけます。	株式会社デイクルーズ 住所：いわき市小名浜字辰巳町43-1 電話番号：0246-54-7600 FAX番号：0246-54-7640 メール：daycruise@aurora.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.iwaki-j.net/corp/day-c/
18	いわき市	いわき市アンモナイトセンター	通年	体験発掘入館料 一般710円（団体660円）/高・高専・大学生550円（団体520円）/小・中学生350円（団体330円） ※税込（8%）の金額です	自家用車19台、障がい者用2台、大型バス7台（無料）		JR常磐線久ノ浜駅下車、車で約15分/常磐自動車道いわき四倉ICから車で約10分	いわき市アンモナイトセンター	8,900万年前のアンモナイト等の化石が集中して発見された地層をそのまま建物で覆った施設と隣接する屋外体験発掘場。館内は、アンモナイトについて紹介する導入展示ゾーンと、現代から遡り時間旅行するタイムスリップゾーン、約700mに及ぶ露頭観察ゾーンや情報検索システム・観察テレビガイドがあり、当時いわきの海に棲息していたアンモナイトを始めとする太古の生物の化石が掘り出されたままの状態を観察することができます。	いわき市アンモナイトセンター 住所：いわき市大久町大字鶴房147-2 電話番号：0246-82-4561 FAX番号：0246-82-4468 メール：info@ammonite-center.jp ホームページ：http://www.ammonite-center.jp/
19	いわき市	三和町ふれあい市場	通年		自家用車30台 ※大型バス可		JR常磐線いわき駅から車で約35分/磐越自動車道いわき三和ICから車で約10分	三和町ふれあい市場	「三和町ふれあい市場」は平成20年11月にオープンした直売所で、建物は地元の三和の杉材を利用したどこか温もりや懐かしさを感じることができます。三和町の清らかな水と空気、豊かな土地で育まれた安全で安心な農産物をできるだけ自然のまま新鮮なうちに直接消費者の皆さんに届けたいとの思いから営業しています。	三和町ふれあい市場 住所：いわき市三和町下字萱ノ内210 電話番号：0246-97-3566 FAX番号：0246-97-3567 ホームページ：http://www.miawa.jp/
20	いわき市	田人観光いちご園	1月～6月	1月～4月：大人（小学生以上）1,200円/幼児（3歳から小学生未満）1,000円 ※GW以降：大人（小学生以上）1,000円/幼児（3歳から小学生未満）800円	自家用車100台（無料）		JR常磐線植田駅から車で約20分、常磐自動車道いわき勿来ICから車で約15分	田人観光いちご園	いちごの収穫体験ができる観光農園です。平石野菜生産組合が運営、品種は「章姫」。杉の培地で高設栽培しており、腰をかかめることなくいちご狩りを楽しめます。	田人観光いちご園 住所：いわき市田人町旅人字下平石70 電話番号：0246-69-2448 ホームページ：http://kankou-iwaki.or.jp/midokoro/63113
21	いわき市	いわきの里「鬼ヶ城」	通年	平日（素泊）：大人4,860円、子供4,110円 休前日（素泊）：大人5,940円、子供4,970円 ※その他は、電話にてご確認ください。	普通車120台、大型バス10台（無料）	電話にてお申し込みください。	JR磐越東線川前駅から車で約15分	いわきの里鬼ヶ城	川前町の宿泊できる体験施設「いわきの里鬼ヶ城」では、農業体験・そば打ち体験など様々な体験メニューをお客様をお待ちしております。	いわきの里鬼ヶ城 住所：いわき市川前町上桶亮字小久田73-3 電話番号：0246-84-2288 FAX番号：0246-84-2180 メール：onigajo2288@mopera.net ホームページ：http://onigajo.com/

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧（いわき地区）

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約（申込）の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
22	いわき市	かねまん本舗	通年	バスに乗車しての説明は無料。	自家用車30台、大型バス12台（無料）	2週間前までに要予約（2～3日前までに要問合せ）	JR常磐線湯本駅からバスで約30分、常磐自動車道いわき湯本ICから車で約30分	店舗またはバスに乗車で説明	海岸から500mほどの所に、店舗とかまぼこ工場を構えるかねまん本舗。 お店駐車場から担当者がバスに搭乗し、震災時の体験談や薄磯海岸から塩屋崎灯台まで震災被害の状況や復興について案内していただけます。（約20～30分） （バスに搭乗での説明は基本的にバス一台まで） 店舗内からは工場を見ることができます。買い物や休憩が可能。 また、いわきら・ら・ミュウにも店舗を構えています。	かねまん本舗 住所：いわき市平下高久字下原83 電話番号：0246-39-3360 FAX番号：0246-39-3754 メール：info@kaneman.net ホームページ： http://www.kaneman.net/
23	いわき市	いわき市フラワーセンター	通年	無料	自家用車380台、大型バス2台（無料）		JR常磐線いわき駅から車で約20分、常磐自動車道いわき中央ICから車で約30分	いわき市フラワーセンター	いわき市フラワーセンターでは、26haの広大な敷地に約600種類、5万本の植物が植えられています。季節の草花が一面に咲き誇る大花壇やバラ園、アジサイ園、イングリッシュガーデン、展示温室などがあり一年を通して四季折々の花と緑をお楽しみいただけます。他に太陽光発電や風力発電設備も設置されており、新エネルギーに対する理解を深める施設としても活用されています。子供の広場には平成26年にリニューアルされた新しい遊具があるほか、年間を通して園や盆栽などの展示会や寄せ植え作りなどの講習会を開催しています。	いわき市フラワーセンター 住所：いわき市平四ツ波字石森116 電話番号：0246-22-5667 FAX番号：0246-23-6450 メール： flowercenter@jobankaihatsu.co.jp ホームページ： http://www.jobankaihatsu.co.jp/flower-center/
24	いわき市	中釜戸のシダレモミジ	11月下旬～12月上旬	無料			常磐自動車道いわき湯本ICより約8キロ・車で約15分 JR常磐線泉駅下車・タクシーで約10分	いわき市渡辺町中釜戸字猿田21	イロハカエデの突然変異で、幹が白くねじれ曲がり、ところどころにコブがつき、枝がしだれて傘を広げたような特徴ある姿です。	いわき市文化振興課 電話：0246-22-7544
25	いわき市	夏井川溪谷	4月上旬～中旬、11月上旬～中旬	無料			JR磐越東線江田駅から徒歩約15分、常磐自動車道いわき中央ICから車で約30分	いわき市小川町上小川～川前地内	多くの滝や淵が変化に富んだ景観をつくる夏井川溪谷は、昭和28年3月に夏井川溪谷県立自然公園に設定され、四季折々の景色が楽しめます。	いわき市総合観光案内所 電話：0246-23-0122
26	いわき市	龍神峡	10月下旬～11月中旬	無料			【車】常磐自動車道いわき湯本ICより30分【電車】JR常磐線泉駅下車 川籠石方面行きバス 中釜戸下車	遠野町滝川原	鮫川の急流の景勝地で、竜神橋から見返橋までの約1kmを往復することで十分に楽しめる。紅葉の時期はウォーキング大会が開催されており、真っ赤に染まった紅葉を眺めながらウォーキングを楽しむことが出来る。	
27	いわき市	いわきでゴルフ三昧！ ※ゴルフ場併設型の宿泊施設に宿泊する場合、これとは別に2か所以上行程に組み込むこと	通年	無料				市内各施設	年間を通じて日照時間が長いサンシャインいわき。夏は涼しく、冬は暖かく降雪量もきわめて少ないので雪の心配もせず一年を通してゴルフプレイができます。	市内各施設
28	いわき市	高蔵寺	4月下旬～5月中旬頃	無料	第1駐車場（自家用車10台）、第2駐車場（自家用車20台）、第3駐車場（自家用車50台、大型バス10台）（すべて無料）		JR常磐線植田駅からバスで、辰ノ口下車徒歩約15分 JR常磐線植田駅から車で約7分 常磐自動車道いわき勿来ICから車で約15分	高蔵寺三重塔周辺	約50万株のシャガが一面に咲き誇る隠れた名所。 高蔵寺は、大同2年(807年)徳一菩薩により開山。 明治25年1月25日の火災により本堂をはじめ貴重な資料を焼失。平成7年7月に本堂を再建。 焼失を免れた三重塔は安永3年(1774年)、當山17世住和尚により再建され、県重要文化財に指定されています。 観音堂は昭和60年に再建され、室内には千手観音像が祀られています。毎年1月17日の観音大祭には、県内外から多くの参拝客が訪れます。 また、4月下旬から5月中旬頃まで、三重塔周辺にはシャガの花が咲き、多くの見学者が訪れます。	高蔵寺 住所：いわき市高倉町鶴巻50 電話番号：0246-63-3030 FAX番号：0246-63-5006 メール：info@kohzouji.com ホームページ：http://kohzouji.com/
29	いわき市	高野花見山	通年	入館料：大人300円/子供(小学生)100円/年間券1,500円	自家用車70台、大型バス3～4台		JR常磐線いわき駅下車、高野行バス山崎下車徒歩約7分/常磐自動車道いわき湯本ICから車で約20分	高野花見山	元々、炭坑の跡地だった場所にできた高野花見山。 花が好きだったオーナーが「地元のいわきにも花を楽しめる場所を作りたい」と思い立ち、約8年の歳月をかけて少しずつ整備。 園路は、高齢者や体の不自由な方も歩きやすいように傾斜をゆるくして、広く造りまた、ゆっくりと花を見ていただけるように、歩き疲れたときに休める東屋や椅子、ベンチを多く配置しています。	高野花見山 住所：いわき市内郷高野町広藪1番地 電話：FAX番号：0246-27-2537 メール：k-hanami@teabreak.jp ホームページ： http://www13.plala.or.jp/kohya-hanamiyama/

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧（いわき地区）

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約（申込）の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
30	いわき市	いわき市海竜の里センター	通年	入場料は無料 遊具施設 大人200円/子供100円	自家用車約34台、大型バス可（無料）		JR常磐線久ノ浜駅下車、車で約10分/常磐自動車道いわき四倉ICから車で約10分	いわき市海竜の里センター	フタバズスキリュウや、いわきクジラなど貴重な化石が発掘されたことで知られる大久川沿いに立地し、敷地内には恐竜の模型や大観覧車、ドラゴンコースターなどがあり、子供達に人気のスポットです。	いわき市海竜の里センター 住所：いわき市大久町大字柴崎9 電話/FAX番号：0246-82-2772 ホームページ： http://www.city.iwaki.fukushima.jp/map/1315/002547.html
31	いわき市	二ツ箭山登山	通年 アカヤシオ 開花時期 4 月中旬～下旬	無料	自家用車40台（※自家用車スペースに大型バス5～6台可）		JR磐越東線小川郷駅下車、タクシーで約10分/常磐自動車道いわき中央ICから車で約30分	いわき市小川町上小川地内	地域標高709.7mの二ツ箭山。男岩と女岩がそびえる姿が弓矢の矢尻を思わせるところから、二ツ箭山と呼ばれています。山頂近くには険しい岩場があり、市内で唯一ロッククライミングが楽しめます。また、春のアカヤシオ（岩つつじ）・秋の紅葉の名所でこの時期には多くの登山客で賑わいます。	いわき観光まちづくりビューロー 住所：いわき市常磐湯本町向田3-1 電話番号：0246-44-6545 FAX番号：0246-44-6546 ホームページ：http://www.kankou-iwaki.or.jp/
32	いわき市	いわきの原風景 遠野町で手作り体験！	通年	300円～7,500円（体験メニューにより違いあり）	自家用車41台、大型バス3台	電話またはメール	常磐自動車道いわき湯本ICから車で約25分	いわき市遠野オートキャンプ場	和紙すきや味噌づくり体験など、遠野に伝わる様々な体験が可能です。 ○遠野伝統技能体験 和紙すき体験、野鍛冶体験、桶細工体験、竹細工体験、薬細工体験など ※遠野和紙は、全国でも数少ない地元産産100%の手すき和紙です。 ○遠野食文化体験 味噌づくり体験、梅干づくり体験、こんにやくづくり体験、もちつき体験、ジャムづくり体験など。	いわき市遠野オートキャンプ場 住所：いわき市遠野町入遠野字越台97-1 電話番号：0246-74-1031 FAX番号：0246-74-1032 ホームページ：http://tohno-autcamp.com/
33	いわき市	乗馬体験散策コース	通年	お一人様40分10,000円（税別）+レンタル料1,500円（税別）	自家用車100台、大型バス5台	電話予約必須	JR常磐線泉駅から車で約10分	ヘレナ国際乗馬倶楽部（ヘレナ国際カントリー倶楽部内）	総敷地面積240万㎡のゴルフ場の中にある全長3kmに渡る散策コースを馬に乗ってお散歩します。初心者の方、初めての方でも大丈夫。インストラクターが付き添うので、安全に騎乗できます。壮大なロケーションを馬上でご堪能ください。	ヘレナ国際乗馬倶楽部 住所：いわき市遠野町頭巾平66-3 電話番号：0246-77-1161 FAX番号：0246-77-1168 ホームページ：http://helena-international.jp/horse.html
34	いわき市	いちご・トマトの収穫体験	いちご：12月23日～6月上旬 トマト：9月下旬～年7月下旬	○いちごの収穫体験※1時間以内、3歳以下無料 12月～2月：大人1500円、子ども1200円、幼児・70歳以上1000円 3月～5月10日頃：大人1300円、子ども1000円、幼児・70歳以上800円 5月11日頃～6月上旬：大人1000円、子ども800円、幼児・70歳以上600円 ○トマトの収穫体験：500円～1000円/袋（子ども～大人まで）	自家用車50台（※大型バス不可）（無料）	体験日の2週間前までにTELにてお申し込みください。 ※前日まで受付・要相談	常磐自動車道いわき四倉ICから約10分	圃場	温室内の苗は、約130cmの高さのロックウール培地に水耕栽培されていて、腰をかかめることなく子供でも収穫しやすい環境です。また車椅子でもOKです。 ○いちごの収穫体験 品種：「章姫」（酸味が少なく、糖度が高い） 「ふくはる香」（酸味が少なめ） 「紅ほっぺ」（糖度と酸味が高く、香気も優れる） ○トマトの収穫体験 品種：「アイコ」（果肉が厚く、甘みが強く、丸玉ミニトマトよりも約2倍多い抗酸化物質リコピンを含み、食味と機能的に優れる） 「フルティカ」（高糖度のフルーツトマト） 「リンカ」（口のなかでトロリととろけるような食感が特徴で、高糖度で食味が優れる。）	大野水耕生産組合 住所：いわき市四倉町玉山字森内23 電話番号：0246-33-3434 FAX番号：0246-33-3435 ホームページ：http://kankou-iwaki.or.jp/midokoro/63107
35	いわき市	「親バカトマト」の収穫体験	トマト：11月下旬～翌年7月上旬（収穫体験） 水稲：5月（田植え体験）	要相談	自家用車1台（※大型バス不可）（無料）	体験日の2週間前までにTELにてお申し込みください。	常磐自動車道いわき勿来ICから車で約5分	トマト圃場	○いわきサンシャイントマト「親バカトマト」の収穫体験 品種：ごぼうひ 糖度：6～7 酸味が程よい昔の味です。福島県の特別栽培農産物の認定をうけ、有機質肥料、完熟堆肥を40年使い続けています。残留期間の長い農薬は使っておりません。賞味期間が長い、安全・安心なトマトです。その他、水稲体験もできます。田植え体験（5月）	代表 トマト耕房小野 小野勝彦 住所：いわき市川部町末ノ宮83 電話番号：090-5595-0788 FAX番号：0246-65-7207
36	いわき市	アグリパークいわき観光いちご園 いちごの収穫体験	12月下旬～6月上旬	○12月～2月まで 大人（中学生以上）1500円、小人（小学生）1200円、幼児・70歳以上1000円 ○3月～6月まで 大人（中学生以上）1200円、小人（小学生）1000円、幼児・70歳以上800円 ※3歳以下は無料	自家用車100台、大型バス5台（無料）	団体のみ予約を願います。	JR常磐線植田駅、勿来駅から車で約20分、常磐自動車道いわき勿来ICから車で約15分	アグリパークいわき観光いちご園	いちごの収穫体験ができます。 温室内の苗は、高さ約130cmに高濃養液栽培されていて、腰をかかめることなく、子供でも簡単に収穫できます。 品種：「章姫」（酸味が少なく、糖度が高い）	アグリパークいわき 観光いちご園 住所：いわき市平下神谷字南内記25 電話/FAX番号：0246-68-7203 とまとランドいわき 住所：いわき市四倉町長友字深町30 電話番号：0246-66-8630 FAX番号：0246-66-8640

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧(相馬地区)

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約(申込)の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
1	新地町	鹿狼山	通年	無料	有		JR常磐線新地駅から車で約10分、常磐自動車道新地ICより車で10分	新地町杉目字飯樋(鹿狼山)	新地町の西部に位置し、阿武隈山地の北端にあたる「鹿狼山」は、一年中多くの登山者が訪れる新地町のシンボルです。春夏にはカタクリ・アジサイなどの草花、秋は紅葉、冬は雪景色と四季を通して里山歩きを楽しむことができます。新地町側には5つの登山コースが整備され、子どもから大人まで楽しむことができるのも魅力です。また、元旦鹿狼山登山では毎年2000人以上の人が、山頂で初日の出を迎えます。	新地町観光協会(新地町役場企画振興課内) 住所:新地町谷地小屋字樋掛田30 電話番号:0244-62-2112 FAX番号:0244-62-3194
2	新地町	海の見えるガーデン花木山	通年	大人300円/中学生100円/小学生以下無料	有		JR常磐線新地駅から車で約10分、常磐自動車道新地ICより車で10分	海のみえるガーデン花木山	鹿狼山登山道近くに位置し、バラをはじめ四季折々の花木、草花を楽しむことができます。ガーデンからは太平洋が一望でき、木を基調とした管理棟は休憩所としてご利用いただけます。	海のみえるガーデン 花木山 住所:新地町杉目字飯樋50 電話番号:090-2846-7183
3	新地町	しんち地場産市場あぐりや	通年		有		JR常磐線新地駅から車で約5分、常磐自動車道新地ICより車で10分	しんち地場産市場 あぐりや	毎朝、農作物や花、加工品などを地元生産者が持ち寄り、所狭しと多彩な商品が並びます。町の特産品のいちじくを使った「いちじく愛す」は、特にオススメです。また、6月、10月、12月には、「収穫祭」などのイベントを開催します。	しんち地場産市場 あぐりや 住所:新地町小川字ソリ畑27 電話番号:0244-62-5220
4	相馬市	いちご狩り	1月～5月	(平成29年) 1月15日～3月31日 1,500円、4月1日～5月7日 1,200円、 5月8日～5月31日 900円 ※小学生未満半額	自家用車50台、大型バス3台(無料)		JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約15分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	和田観光いちご園	和田観光いちご園では、章姫、さちのか、とちおとめ、ふくはる香、紅ほっぺ、アスカルビーと全部で六種類のいちごをハウスで栽培しており、30分間食べ放題でいちご狩りを楽しむことができます。また、朝摘みのいちごも販売しておりますので、お土産におすすめです。なお、前日までに予約すると、手ぶらでパーベキューもできます。お肉・魚介類・新鮮野菜などの食材は、お客様のお好みに合わせて柔軟に対応いたします。	和田観光苺組合 住所:相馬市和田字下柴迫94 電話番号:0244-36-5535 ホームページ: http://blog.wadanko-ichigo.jp/
5	相馬市	松川浦復興チャレンジグルメ	通年	店舗により異なる	店舗に問合せください	店舗により異なる	JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約15分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	松川浦の食事処や旅館	東日本大震災の津波で被害を受けた松川浦の旅館組合、飲食店、土産物販売を生業としている仲間が「相馬市松川浦復興チャレンジグルメ」を立上げ、2012年4月から海産物でんご盛りの「松川浦復興チャレンジグルメ」の販売が開始しました。松川浦の観光産業復興のために、各店舗が旬の食材を活かしたメニューを考案しており、春・秋・冬でメニューが変わります。いずれは相馬産の海産物でいっぱい松川浦復興チャレンジグルメになることを目指しています。	相馬市松川浦観光復興グループ 住所:相馬市尾浜字原228-25 電話番号:0244-38-8808 メール:info@matsukawaura.com ホームページ: http://matsukawaura.com/index.html
6	相馬市	視察研修	通年	無料		相馬市観光協会へ電話予約	JR常磐線相馬駅から車で約5分、常磐自動車道相馬ICから車で約10分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	相馬市沿岸部	東日本大震災によって被災した相馬市の沿岸部地域を巡り、当時の被害状況や現在の復興状況の説明を聞くことができます。道の駅そうまでは説明を受けた後に買い物ができる。1月～5月末までは和田観光いちご園においていちご狩り、もしくは朝摘みのいちごを購入することができます。	相馬市観光協会 住所:相馬市中村字北町55-1 電話番号:0244-35-3300 FAX番号:0244-35-3210 ホームページ: http://www.somacci.com/~kankou/
7	相馬市	松川浦特選エコツアー	不定期	500円～3,000円(昼食・宿泊セット料金有り) ※プログラムにより値段が異なるため詳細はお問い合わせください		電話による申込み	JR常磐線相馬駅から車で約20分、常磐自動車道相馬ICから車で約25分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	松川浦近郊	春夏秋冬に合わせ、1鵜ノ尾ガイドツアー、2干潟生物探検、3松川浦水上観察、4ナイトフィッシュキャッチ、5漁師が語る相馬の海、6板長が教えるホッキ料理体験といった体験プログラムを用意しています。	相馬市観光協会 住所:相馬市中村字北町55-1 電話番号:0244-35-3300 FAX番号:0244-35-3210 ホームページ: http://www.somacci.com/~kankou/
8	相馬市	相馬光陽パークゴルフ場	通年	大人500円(中学生以下250円)、クラブ1本150円、ボール50円	自家用車129台、大型バス2台(無料)	電話による申込み	JR常磐線相馬駅から国道6号線、国道113号線経由で約10分、常磐自動車道相馬ICから車で約10分	相馬市光陽地区	パークゴルフは、低料金で子供から高齢者まで手軽に楽しめるスポーツです。相馬光陽パークゴルフ場は、敷地面積約120,000平方メートル(東京ドーム2.5個分)、9コース81ホール規模を持つ、東北最大級のパークゴルフ場(国際パークゴルフ協会公認コース)です。	NPO法人 相馬光陽パークゴルフ 住所:相馬光陽パークゴルフ場 電話番号:0244-26-8009 FAX番号:0244-36-1112 ホームページ: http://bb.soma.or.jp/~parkgolf/

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧(相馬地区)

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約(申込)の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
9	相馬市	相馬市伝承鎮魂祈念館	通年	無料	自家用車5台(無料)		東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分、JR常磐線相馬駅から車で20分、常磐自動車道相馬ICから車で20分	相馬市伝承鎮魂祈念館	相馬市の原釜地区に「相馬市伝承鎮魂祈念館」が平成27年4月1日に開館しました。この施設は、相馬市の震災前の原風景や震災の記録などを、写真や映像でみることができ、震災によって失われた相馬市の「原風景」を後世に残し、遺族の心の拠所としていくとにも、震災前の相馬市を知らない人々に、在りし日の相馬市の姿を伝えていきます。そしてさらに、震災で得た経験や教訓を決して忘れることなく、これからの時代を担う子どもたちや地域の人たちへと語り継いでいきます。	相馬市伝承鎮魂祈念館 住所:相馬市原釜大津270 電話番号:0244-32-1366 メール:sg-syoko@city.soma.fukushima.jp
10	相馬市	千客万来館(相馬観光復興御案内処)	通年	無料	自家用車10台(無料)	電話、メール、FAXによる申込み	JR常磐線相馬駅から車で約5分、常磐自動車道相馬ICから車で約8分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	千客万来館	観光交流拠点として、全国からの誘客の第一受け入れ拠点としての役割を担っており、従来の自然やスポーツなどの観光資源の情報提供や宿泊案内などを行うとともに、復興視察に訪れる方々のスムーズな誘客を担っています。視察コースとして、防災施設、復興・鎮魂、和風建築、スポーツなどの4コースを設定しており、観光案内スタッフが、ご案内いたします。	相馬観光復興御案内所(相馬市観光商工課) 住所:相馬市中村字北町55-1 電話番号:0244-26-4848 FAX番号:0244-26-4343 メール:sg-syoko@city.soma.fukushima.jpホームページ: http://www.city.soma.fukushima.jp/kanako/goannaidokoro/index.html
11	相馬市	相馬中村神社	通年	無料	自家用車20台(無料)		JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約10分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	相馬中村神社	相馬家代々の氏神として崇敬されてきた相馬中村神社は、中村城郭内の西方に当たる小高い丘に建っています。1643年第18代当主、義胤公により建立。社殿は、本殿、幣殿、拜殿からなる権現造りの複合社殿となっており、要所に漆塗り、彩色、節金具で飾り、寛永建立の正統的なもので、昭和58年国の重要文化財に指定されました。	相馬中村神社 住所:相馬市中村字北町140 電話番号:0244-35-3363 メール:info@somanakamurajinja.or.jp ホームページ: http://www.somanakamurajinja.or.jp/
12	相馬市	相馬市歴史資料収蔵館・郷土蔵	通年	相馬市歴史資料収蔵館 一般・大学生 100円(団体20名以上 半額)、小・中・高校生以下 50円、土・日・祝日 市内小・中・高校生無料 郷土蔵 無料	自家用車20台(無料)		JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約15分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、常磐自動車道山元ICから車で約40分	相馬市歴史資料収蔵館・郷土蔵	相馬市内の歴史資料を収蔵・展示する「相馬市歴史資料収蔵館」と、地域の民俗資料を保存・展示する「郷土蔵」は平成26年7月26日にオープンし、両施設は、平成25年10月に開館した相馬市民会館の東側に位置し、市民会館同様の和風デザインです。歴史資料収蔵館には原始時代から近世までの本市の歴史資料が、郷土蔵には農具などの民俗資料が展示されています。	相馬市歴史民俗資料館 住所:相馬市中村字北町51-1 電話番号:0244-37-2191 ホームページ: http://www.city.soma.fukushima.jp/digital/assets/index.html
13	相馬市	相馬こどもドーム	通年	(個人利用)一般・大学生 100円(団体20名以上 半額)、高校生以下 50円、未就学児 無料 (団体利用) 一般団体 1時間あたり1,000円、高校生以下の団体 1時間あたり500円	自家用車300台(無料)	団体利用の場合、タカクニスポーツ(NPO法人オール相馬ソフトボール倶楽部)へ申込み tel.0244-35-4254	JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約20分、東北自動車道福島西ICから車で約90分	相馬こどもドーム	「相馬こどもドーム」とは、子どもたちが安全な環境で、のびのびと運動をするための屋内スポーツ施設です。平成26年12月18日にオープンしました。同施設は、宮城県に本拠地を置く楽天野球団が中心となって設立した「屋内スポーツ施設建設募金団体」が施設建設のために全国から寄せられた募金により建設したものです。	相馬市教育委員会 住所:相馬市中村字大手先13 電話番号:0244-37-2278
14	相馬市	百尺観音	通年	無料	自家用車20台(無料)		JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約15分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分		相馬出身の仏師荒嘉明氏(昭和38年没)が諸国遊歴の後、生涯一仏一体を残そうと若山を切り開き建立したのが百尺観音(磨崖仏百尺聖観世音尊像)です。	千客万来館 住所:相馬市中村字北町55-1 電話番号:0244-26-4848 FAX番号:0244-26-4343 ホームページ: http://www.city.soma.fukushima.jp/index.html
15	相馬市	道の駅そうま	通年		自家用車約30台、大型バス約10台(無料)		JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約15分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分		「旗のなびく本陣の賑わい」をテーマに平成15年4月にオープンした道の駅そうまには、休憩施設・情報提供施設及び物産・軽食販売施設があり、ドライブの休憩所としてもご利用いただけます。なお、物産館では、相馬市産のタコや乾燥青のり、海苔の佃煮といった海産物、相馬市の米と相馬の地で湧き出た「天明日」でつくられた日本酒「夢そうま」などを販売しております。	道の駅そうま 住所:相馬市日下石字金谷77-1 電話番号:0244-37-3938

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧(相馬地区)

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約(申込)の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
16	相馬市	松川浦パークゴルフ場	通年	大人500円(中学生以下250円)、クラブ1本150円、ボール50円	約300台(大型バス駐車可(無料))	電話による申込み	JR常磐線相馬駅から国道6号線を通り東へ車で約15分	相馬市岩子地区	パークゴルフは、低料金で子供から高齢者まで手軽に楽しめるスポーツです。 松川浦パークゴルフ場は、4コース36ホールの規模を持つ、パークゴルフ場(国際パークゴルフ協会公認コース)です。	松川浦スポーツセンター 住所:相馬市岩子字長谷地9-1 電話・FAX番号:0244-36-4355
17	相馬市	涼ヶ岡八幡神社	通年	無料	自家用車10台(無料)		JR常磐線相馬駅から車で約15分、常磐自動車道相馬ICから車で約15分、東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	涼ヶ岡八幡神社	建武年間(1334-1338)に宇多庄の守護白川道忠によって建立され、元禄8年(1695)に当時の相馬中村藩主相馬昌胤(そうまさたね)公によって現在の社殿および境内が整備されました。流造風の本殿と入母屋造の拝殿とを、拭板敷の幣殿でつなぐ、いわゆる権現造りの形態をもつ社殿となっています。また、全般に入念な手法が施され、板壁外面や脇障子などの文様彫刻、内・外陣の板壁内側や天井には鮮やかな絵が描かれており、元禄時代を彷彿とさせる建造物です。平成24年7月9日には、国の重要文化財に指定されました。	涼ヶ岡八幡神社 住所:相馬市坪田字涼ヶ岡51 電話番号:0244-36-4342 FAX番号:0244-36-4352 メール:hachiman@tulip.ocn.ne.jp ホームページ: http://www4.ocn.ne.jp/~hachiman/
18	相馬市	愛宕山史跡	通年		自家用車10台(無料)		JR常磐線相馬駅から車で約10分	相馬市西山字表西山	史跡には、イザナギノミコトと火産靈尊(ホムスビノミコト)を祭神とする愛宕神社。相馬藩内子弟を教育し、多くの俊才を輩出した金蔵院。第19代当主忠胤公が、武運長久を祈って建立した観音堂。出羽の名工、上杉主殿頭作の地藏堂などの史跡があります。また、二宮尊徳の遺髪を葬るお墓もあります。	千客万来館 住所:相馬市中村字北町55-1 電話番号:0244-26-4884 FAX番号:0244-26-4343 ホームページ: http://www.city.soma.fukushima.jp/index.html
19	相馬市	報徳庵	通年		大型バス3台(無料)		東北自動車道福島西ICから車で約90分、仙台空港から車で約50分	報徳庵	温かい木のぬくもりが感じられる店内は、木材などすべて支援により完成しました。人気のメニューは新鮮な海のごちそうをふんたんに使用した海の幸どんぶりや刺身定食です。食事をした後で店主から震災当時の話を聞くことができます。	報徳庵 住所:相馬市中村字塚田72 電話番号:0244-26-9119 ホームページ:https://ja-jp.facebook.com/hotokuan
20	相馬市	相馬牛	通年					(販売場所)株式会社 鳥久精肉店	「相馬牛」は、全国では「福島牛」として販売されています。「福島牛」の中でも相馬市内の生産農家のいずれかで肥育された、A5ランクの黒毛和牛のみを、「相馬牛」として販売しております。	株式会社 鳥久精肉店 住所:相馬市中村字田町60 電話番号:0244-35-2929 FAX番号:0244-35-3133 ホームページ: http://www.soma.or.jp/~torikyuu/index.html
21	相馬市	JAそうま農産物直売所「ふれあい旬のひろば」	通年		有		JR常磐線相馬駅から車で15分、常磐自動車道相馬ICから車で約25分	JAそうま	地元生産者が朝採りした新鮮・安全・安価な農産物を地域の皆様にご提供いたします。 主な取扱い目品 野菜(大根、トマト、キュウリ、ナス、小松菜、生シイタケ) 果物(イチゴ、梨)、加工品(まんじゅう、パン、もち)、花卉	JAそうま 住所:相馬市尾浜字細田241-1 電話番号:0244-38-6311
22	南相馬市	甲冑着付け体験	通年	足軽甲冑1000円、武将甲冑2000円 ※フル装備ご希望の場合は+1000円	自家用車20台、大型バス1台 ※大型バスはゆめはっと駐車場を利用(無料)	事前にお電話または用紙に必要事項を記入し申込み	JR常磐線原ノ町駅から車で約10分、常磐自動車道常磐南相馬ICから約10分	野馬追通り 銘醸館	武将甲冑・足軽甲冑の着付け体験を野馬追通り銘醸館にて実施。 一千年以上の伝統を持つ「相馬野馬追」の里で、甲冑を身につけ相馬野馬追の歴史に触れてみませんか。	一般社団法人南相馬観光協会 住所:福島県南相馬市原町区2-52 電話番号:0244-22-2114(南相馬観光協会) 0244-26-8040(野馬追通り銘醸館) FAX番号:0244-22-2115 メール:h-kanko@fancy.ocn.ne.jp ホームページ: http://minamisomakanko.org/
23	南相馬市	南相馬市博物館	通年	一般300円(250円)、高校生200円(150円)、小中学生100円(80円) ※()内は20名以上の団体料金 市内に通学、在住の生徒は無料。障がい者のかたは無料。(手帳をご提示ください。)	自家用車40台、大型バス可(無料)	電話またはFAX	JR常磐線原ノ町駅から車で約10分、常磐自動車道常磐南相馬ICから約10分	南相馬市博物館	広大な東ヶ丘公園の中にあり、相馬野馬追祭場地の東側に位置しています。 展示は相馬地方の伝統である、国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」をはじめ、南相馬市を中心に周辺の自然・歴史・民俗をテーマとした展示を行っています。	南相馬市教育委員会文化財課博物館 住所:南相馬市原町区牛来字出口194 電話番号:0244-23-6421 FAX番号:0244-24-6933 ホームページ: http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/24.html

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧(相馬地区)

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約(申込)の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
24	南相馬市	道の駅南相馬	通年		自家用車68台、大型バス17台、身障者用3台、駐輪場2箇所(無料)	施設利用の申し込みについては事務所までお問い合わせください	JR常磐線原ノ町駅から車で約5分、常磐自動車道常磐南相馬ICから約15分	道の駅南相馬	ホール・調理実習室・ギャラリーの貸し出し等を行う観光交流館と南相馬市の特産品・お土産・農産物の販売やレストランを完備している物産販売施設があり南相馬市の魅力を感じることができます。	榑野馬追の里 住所:南相馬市原町区高見町2丁目30-1 電話番号:0244-26-5100 FAX番号:0244-26-5101 ホームページ: http://www.nomaoinosato.co.jp/
25	南相馬市	野馬追通り銘醸館	通年	無料	自家用車10台(無料)	施設利用の申し込みについては事務所までお問い合わせください	JR常磐線原ノ町駅から車で約10分、常磐自動車道常磐南相馬ICから約10分	野馬追通り 銘醸館	江戸時代後期からの老舗「旧松本銘醸」の酒蔵等を改装した施設で、展示室やギャラリー蔵を備え、絵画展、写真展や音楽イベントなどに利用されています。また落ち着いた雰囲気のお食事処「食彩庵」も人気です。	野馬追通り銘醸館 住所:南相馬市原町区本町2丁目52 電話番号:0244-26-8040 FAX番号:0224-22-2115 ホームページ: http://www.minami-soma.com/meijokan/
26	南相馬市	南相馬市サービスエリア活用拠点施設「セデッテかしま」	通年		高速道路利用者専用普通39台・大型25台(無料) 一般道利用者専用 普通42台・大型4台(無料)		JR常磐線鹿島駅から車で約10分、常磐自動車道南相馬鹿島サービスエリア隣接(一般道からも利用可)	セデッテかしま	相馬地方の方言で「連れて行って」という意味の「セデッテ」は、南相馬鹿島サービスエリアに隣接する観光施設です。館内に入ると相馬野馬追の騎馬武者ディスプレイが迎えます。施設内では様々な地域情報の発信のほか、特産物の販売やフードコート、テイクアウトのコーナーも充実しています。	セデッテかしま 住所:南相馬市鹿島区浮田字根木沢212-1 電話番号:0244-26-4822 ホームページ: http://sedette.jp/
27	飯館村	いいたて村の道の駅までい館(2017.8オープン)	通年	無料	大型車:7 小型車:49 身障者用:2(無料)	予約無用	県道原町川俣線 県道12号線沿い	いいたて村の道の駅までい館	【施設概要】 ・野菜等直売コーナー ・軽食コーナー ・物販コーナー ・コンビニエンスストア	いいたて村の道の駅までい館 住所:相馬郡飯館村深谷字深谷前12-1 電話番号:0244-42-1080
28	飯館村	宿泊体験館きこり	通年	○入浴:大人(中学生以上)300円、子供(小学生)150円、 ○岩盤浴(イオラ)大人(中学生以上)700円(入浴料込) ○1人1泊(食事なし、入浴料込み) 大人 3,675円(中学生以上) 、子供 3,150円(3歳以上小学生以下)	自家用車:40台(無料) ※大型車駐車場有	宿泊の場合要予約(電話)	東北道福島西ICよりR114、県道原町川俣線経由、原町方面へ50分	宿泊体験館きこり	休館していた宿泊体験館きこりが憩いの場として再オープン。施設は、「村民の森あいの沢」の緑豊かな湖畔に位置しています。宿泊(素泊まり)、入浴施設「トゴールの湯」・岩盤浴施設「癒しの空間イオラ」・研修室等を利用することができます。	宿泊体験館きこり 住所:相馬郡飯館村深谷字市沢166-6 電話番号:0244-42-1012 FAX番号:0244-42-1019 ホームページ: http://iitate-kikori.jp/
29	飯館村	山津見神社	通年		大型車駐車場有(無料)	オオカミ絵の見学については、個別に問い合わせただくと確実です	東北道福島西ICよりR114、県道原町川俣線経由、原町方面へ60分	山津見神社	山・農・海を司るとされ古くから庶民の信仰を集めてきた神社であり、東北地方の山の神の総本山ともいわれるところから広く県外からも参拝者が多い。震災後に火事で拝殿が焼失しましたが、建て直しとともに復元されたオオカミ天井絵を見学することもできます。	山津見神社 住所:相馬郡飯館村佐須字虎捕266 電話番号:0244-42-0846

うつくしま浜街道観光推進会議バス借上費用助成金対象観光施設等一覧（双葉地区）

H29.6.9更新

No	市町村	名称等	実施期間または実施日	利用料金	駐車場	予約(申込)の方法	交通アクセス	実施場所	概要	連絡先
1	浪江町	大堀相馬焼	通年	入場料無料 体験メニュー料金についてはお問い合わせください。	有	電話	JR東北本線安達駅から車で約7分 東北自動車道二本松ICから車で15分	陶芸の社おぼり 二本松工房	経済産業大臣指定の伝統的工芸品である大堀相馬焼。 避難先の二本松で再開し、各窯元の作品展示と販売、陶芸教室を実施しています。	大堀相馬焼協同組合 住所：二本松市小沢字原115-25 電話番号：0243-24-8812
2	檜葉町	檜葉町サイクリングターミナル・天神山温泉しおかぜ荘	通年	要問合せ	施設内指定駐車場有(無料)	要問合せ	JR常磐線竜田駅から徒歩20分、常磐自動車道広野ICから車で約15分	天神岬スポーツ公園内	天神岬スポーツ公園内に位置するサイクリングターミナルにはレンタサイクルのほか、宿泊施設やレストランも完備されており、併設のしおかぜ荘では様々なお風呂、サウナ他、太平洋を一望できる露天風呂をお楽しみ頂けるなど、一日中楽しめる観光スポットになっています。	天神岬スポーツ公園 住所：福島県双葉郡檜葉町大字北田字上ノ原27-29 電話番号0240-25-3113 FAX番号：0240-25-3128 メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp ホームページ：http://naraha-tenjin.net/inquiry
		天神岬スポーツ公園 ※「檜葉町サイクリングターミナル・天神山温泉しおかぜ荘」に宿泊した場合1か所とみなす	通年	入園無料	自家用車250台、大型バス対応可(無料)	予約不要	JR常磐線竜田駅から徒歩約20分、常磐自動車道広野ICから車で約15分	天神岬スポーツ公園	太平洋に突き出すようにそびえる高台の地・天神岬に立地する総合レクリエーション施設です。園内には遊歩道やサイクリングロードが整備され、桜やアジサイ、町の花ヤマユリをはじめとする様々な花が楽しめます。特に桜は数多く植えられており、近隣でも有数の桜の名所として知られています。 また、木戸川に面した南の断崖上からは、津波による被害からの復興を進めている前原・山田浜地区を一望することができ、自然災害の記憶を保存する津波ビューポイントとしての整備が計画されています。 ※地震の影響により、施設は一部ご利用いただけない部分がございます。	
3	檜葉町	檜葉町仮設商業共同店舗こころ商店街	通年		檜葉町役場(無料)自家用車70台、大型バス5台	予約不要 (団体でお越しの場合) 檜葉町商工会 電話番号：0246-35-0331 FAX番号：0246-23-5211	JR常磐線竜田駅から徒歩約15分、常磐自動車道広野ICから車で約10分	檜葉町役場西駐車場	檜葉町から町外へ避難していた店舗が、国道6号線沿いの檜葉町役場前に共同で仮設店舗を出店しました。立ちしおぼ・うどん「おらほ亭」、老舗食堂「武ちゃん食堂役場前店」、スーパー「プライチェーン檜葉店」の3店が入居し、食事も買い物も「こころ」全てお楽しみいただけます。活気あふれる檜葉の「こころ商店街」にぜひお越しください。	檜葉町新産業創造室 住所：双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6 電話番号：0240-23-6105(直通) FAX番号：0240-25-1100(代) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp
4	檜葉町	語り部ガイド 宇佐見雅夫氏 ～過去を振り返り未来を語る 復興の歩み～	通年	30分 3,000円、60分 5,000円	檜葉町役場(無料)自家用車70台、大型バス5台	檜葉町新産業創造室 電話番号：0240-23-6105(直通) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp「語り部ガイド担当」あて	JR常磐線竜田駅から徒歩15分、常磐自動車道広野ICから車で約10分	檜葉町内一円	役場職員として、また郷土の歴史・文化に精通した学芸員として檜葉町歴史民俗資料館に長年勤務し、また現在は町議会議員を務めている経験から、過去から現在につながる檜葉町の歴史・文化と、そこから未来へ向けた復興事業の現状などを解説いたします。氏は町内に伝わる昔話、言い伝えなどにも造詣が深く、現地で実際に町内の歴史・文化スポットや、津波被災地・仮置場等の復興に関わる景観を巡るツアーガイドとして、現地視察・研修、見学ツアーに同行いたします。	檜葉町新産業創造室 住所：双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6 電話番号：0240-23-6105(直通) FAX番号：0240-25-1100(代) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp
5	檜葉町	語り部ガイド 高原カネ子氏 (和布細工工房「ほのぼの」代表)	通年	30分 3,000円、60分 5,000円	檜葉町役場(無料)自家用車70台、大型バス5台	檜葉町新産業創造室 電話番号：0240-23-6105(直通) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp「語り部ガイド担当」あて	JR常磐線竜田駅から徒歩15分、常磐自動車道広野ICから車で約10分	檜葉町内一円	震災、避難生活の苦しい体験や、その中で生きがいを持った人々を元気づけようと和布細工工房「ほのぼの」の活動を継続してきた体験についてお話しいたします。日本古来の和の布を使った布細工で、和服に代表される日本文化の素晴らしさを伝えたいという気持ちで始めた「ほのぼの」のネットワークは、各地に散らばって暮らす檜葉や双葉郡の人々の輪と重なり、いわき市や会津地方、県外にまで人々の「輪」と「笑」を広げています。その中で、感じていることをお伝えいたします。	檜葉町新産業創造室 住所：双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6 電話番号：0240-23-6105(直通) FAX番号：0240-25-1100(代) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp
6	檜葉町	北田神社	通年	拝観無料	自家用車20台、大型バス対応可	予約不要	JR常磐線竜田駅から徒歩約20分、常磐自動車道広野ICから車で約15分	北田神社(檜葉町大字北田字天神原1)	学問の神様として知られる菅原道真(天神様)を祭った神社です。鎌倉時代の1308年に総本社の京都北野天満宮から勧進されて以来住民の信仰を集め、天神岬(天神山・天神原)の地名の由来にもなっています。現在でも学業成就の神様として合格祈願などに訪れる人がおり、また境内には多くの桜が植えられ、隣接するスポーツ公園と共に桜の名所としても知られています。	檜葉町新産業創造室 住所：双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6 電話番号：0240-23-6105(直通) FAX番号：0240-25-1100(代) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp
7	檜葉町	木戸八幡神社	通年	拝観無料	有	予約不要	JR常磐線木戸駅から徒歩約40分、常磐自動車道広野ICから車で約15分	木戸八幡神社(檜葉町大字上小瑞字宮平1)	1182年に地元の武士・楡葉氏が勧進した神社で、地域の精神的中心として地元から信仰を集め、建物は町指定文化財になっています。江戸時代を通じて奉納された沢山の絵馬が残されており、古からの信仰の篤さを物語っています。現代まで続く義団と呼ばれる地元コミュニティを形成し、春の神事である浜下り行事においても重要な役割を担っています。長い参道の奥に、桜などの木々に囲まれて大社殿が佇む様子は静謐そのものです。	檜葉町新産業創造室 住所：双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6 電話番号：0240-23-6105(直通) FAX番号：0240-25-1100(代) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp
8	檜葉町	上繁岡大堤(かみしげおかおつつみ)	未定	観覧無料	自家用車12台	予約不要	JR常磐線竜田駅から徒歩約60分、常磐自動車道広野ICから車で約20分	上繁岡大堤(双葉郡檜葉町大字上繁岡字堤袋8-4)	大堤は白鳥の来訪地としても知られています。多い年は1,000羽近くもの白鳥が冬を過ごし、池のほとりには休憩施設を兼ねた観察施設「白鳥の館」が設けられています。 ※ため池の工事等でご利用になれない場合があります。ご了承ください。	檜葉町新産業創造室 住所：双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6 電話番号：0240-23-6105(直通) FAX番号：0240-25-1100(代) メール：souzou-n@town.naraha.lg.jp